

## 令和元年度 部局経営方針

部局名	農林水産部	部局長名	児玉 貴		
部局の経営資源	職員数 (人)	現計予算額 (千円)		令和元年度中に策定した計画 (根拠法令等)	
	正職員	33	一般会計	1,327,767	○ 日向市食育・地産地消推進計画(上位計画:第2向日向市総合計画)  ○ 日向市橋梁(林道)長寿命化修繕計画 (上位計画:林野庁インフラ長寿命化計画)
	再任用職	4	特別会計	153,060	
	任期付職	3	前年度繰越額(千円)		
	嘱託員	1	一般会計	190,138	
	臨時職員	2	特別会計	0	
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>(1) 新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち</p> <p>① 担い手の育成・確保のために、認定農業者、新規就農者や集落営農組織等の育成を図ります。</p> <p>② 農業経営安定のために、高収益作目の選定や施設等の導入支援、農地の集積・集約化を推進するとともに、有害鳥獣対策の強化を図ります。</p> <p>③ 「へべす」や「細島いわがき」などの更なる知名度向上を図るため、県内外に向けた情報発信や販促活動に積極的に取り組みます。</p> <p>④ 薬草の優良品目の選定と担い手確保・育成により栽培の本格化を図るとともに、収穫した薬草の商品化と薬膳開発に取り組み、販路開拓を行います。</p> <p>⑤ 畜産業振興のために、経営技術の確立や優良家畜の導入、自給飼料の増産等に対する支援を行うとともに家畜防疫体制の強化に努めます。</p> <p>⑥ 農村環境の維持と生産基盤の整備拡充に努めます。</p> <p>⑦ 持続可能な林業経営の実現のために、杉コンテナ苗を利用した再生林の推進など豊かな森林資源を循環利用できる仕組みの整備や、生産性の向上に努めます。</p> <p>⑧ 持続的で安定した漁業経営の実現のために、水産資源の保護増殖、安全・安心な水産物の供給を図ります。</p> <p>(2) 快適で魅力ある機能的な住みやすいまち 土地の有効利用・保全や固定資産税の負担の適正化などを図るため、計画的な地籍調査を推進します。</p> <p>(3) 市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち ふるさと納税の返礼品等の充実・拡大に取り組むとともに、納税ポータルサイトにおける情報発信やダイレクトメールの発送など効果的なPRを行い、寄附額の増大による自主財源の確保を図ります。</p>				

## 【成果と課題】

(1) 新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち

① 担い手の育成・確保対策として、就農希望者及び新規就農者に対し、農業研修や農地の斡旋などの支援を行うとともに、認定農業者の全戸訪問等により、経営改善計画の達成に向けた支援を行いました。また、農作業受託組織の機械導入に対する支援を行いました。近年、新規就農に係る相談が増加傾向にあることから、関係機関と連携し、細やかな支援を行うことにより、新規就農者の確保を図る必要があります。

② 農業経営安定対策として、新規就農者等の農業用ハウス92aの整備及びへべす園地2haの造成に対する支援や、農地中間管理機構と連携し、9.9haの農地を担い手へ集積しました。今後は、国・県事業の活用により農業用ハウスを整備した担い手に対し、事業計画達成に向けたフォローアップに努め、経営安定化を図る必要があります。また、有害鳥獣対策として、侵入防止柵約60kmの整備など地域ぐるみの取り組みや、捕獲班によるシカ、イノシシ、サル等の捕獲活動により、個体数を3,130頭(羽)減少させるなど、被害軽減に向けた取り組みを行いました。

③ 「へべす」については、県内外で計10回のイベントへの参加、販売促進活動を行ったほか、雑誌・新聞・テレビ等でPRする機会が増加し、知名度向上につながりました。中でも、日向市駅前で開催された「食の祭典」では、「冷凍へべす」を用いた料理やドリンクを販売し、メディアで大きく取り上げられました。また、「細島いわがき」の成分分析の結果を公表し、有用性を示すことでブランド化を図りました。今後は、インターネットやSNSを使った情報発信にも積極的に取り組む必要があります。

④ 薬草については、熊本大学薬学部と東郷まちづくり協議会との連携により、生育良好な3品目を選定しました。今後は、本格栽培を推進するとともに、新たな販路確保のための取り組みが必要です。

⑤ 畜産農家の経営基盤強化を促進し、産地競争力・生産性の向上を図るため、優良家畜の導入に対する経費の一部を支援しました。また、経済的損失につながる牛異常産予防注射の実施と家畜伝染病対策として全畜種農場に消毒用石灰を配布しました。隣接諸国で発生している家畜伝染病はもとより一般疾病についても、発生防止対策を推進し、畜産経営の安定を図る必要があります。

⑥ 富島幹線水路長寿命化計画に基づいた改修工事を行うとともに、農地耕作条件改善事業を活用し、担い手への農地集約を行いました。今後は、老朽化の著しい農業用施設の更新や、各種事業を活用した生産基盤の整備を図る必要があります。

⑦ 通年植栽が可能なスギコンテナ苗の利用を促進するため、「国土保全造林事業補助金」を拡充するとともに、伐採・再造林一貫作業研修を開催し、林業の低コスト化・省力化による持続可能な資源循環型林業を推進しました。

⑧ ヒラメ等の稚魚放流や密猟監視業務及びハマグリ生息状況調査を実施し、水産資源の保護増殖に努めるとともに、「細島いわがき」の生食集荷に向けた衛生検査の支援を行い、安全・安心な水産物の供給に努めました。また、今後も、持続的な漁業経営を実現するため、日向市漁協と連携した担い手確保対策が必要です。

(2) 快適で魅力ある機能的な住みやすいまち

土地の境界確定や固定資産税の適正化を図るため、美々津地区及び迫野内地区の地籍調査事業を実施しました。年度末の進捗率が依然36.4%と低いことから、事業の継続が必要です。

(3) 市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち

ふるさと納税の返礼品数は、令和2年3月末時点で200品目(平成31年4月末時点138品目)に増加しました。また、寄附金の使い道についてリーフレット14,000通を作成し、寄附者一人ひとりに報告した結果、本市事業への理解と関心の深まりからリピーターが増えたことが大きな下支えとなり、寄附金額約6億3千万円(前年比2.5倍)の実績につながりました。

# 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

( 農林水産部 )

重点戦略								
重点プロジェクト								
基本目標	施策	具体的な施策	予算事業名	所管課	令和元年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数

**【重点戦略1】 未来へつなげる人づくり戦略** **郷土愛を持ち、社会に貢献する元気な若者を育てます。**

1-3 ふるさと“発見”プロジェクト					令和元年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
3 産業 振興	農業の振興	③経営安定 対策の推進	地産地消 推進事業	農業畜 産課	<p>【取組内容】 日向市の食育及び地産地消事業を推進するために、「日向市食育・地産地消推進計画」(計画年度:令和元年度～令和5年度)を策定します。</p> <p>【上半期】 ・5月から7月に策定検討委員会及び策定委員会を開催。過去5年の成果の検証、計画案を作成します。 ・8月にパブリックコメントを募集します。 ・9月にパブリックコメントを反映させ計画を策定します。</p>	完了	<p>「日向市食育・地産地消推進計画」(計画年度:令和元年度～令和5年度)を策定しました。</p> <p>・5月～7月:策定検討委員会及び策定委員会開催 ・8月:パブリックコメント募集 ・9月:計画策定</p>	380

**【重点戦略2】 活力を生み出すにぎわいづくり戦略** **若者が魅力を感じる活力に満ちたまちをつくります。**

2-2 元気と活力を生み出す“しごと”づくりプロジェクト					令和元年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
3 産業 振興	3-1 農業の振興	②地域資源 を生かした 特産物の振興	へべす振 興対策事 業  日向地域 のブラン ド確立推 進事業	ブラン ド推進 課	<p>【取組内容】 令和2年度から他産地での「へべす」出荷が予想されるため、県内での知名度の向上と消費拡大に向けた取り組みを強化するとともに、県外において更なる販路拡大に努めます。 また、「ブルーベリー葉」と生産量が増加傾向にある「オリーブ」については、先行して販路の開拓・確保に努めます。</p> <p>【上半期】 ・市内や県内外のイベントでの販促活動を行います。 ・テレビやラジオなどのメディアを活用したPRを行います。</p> <p>【下半期】 ・苗木(へべす、オリーブ、ブルーベリー葉)購入費用の助成を行います。</p>	計画どおり	<p>県内における「へべす」の認知度向上のため、露地へべすの出荷が始まる8月から民放2局でCMを放映しました。 例年取り組んでいる県外での販促活動についても、福岡や東京において継続して取り組みました。 また、日向市発祥の「へべす」としてPRするため、JAの販売担当者との協議し、本市からの出荷分を差別化する方向で一致しました。 オリーブの販促については、昨年度から発生している立枯病の影響により、生産量が激減し、収穫と販売は出来ませんでした。新しい苗木の購入に対し助成を行いました。</p>	202・204

				薬草の里づくり事業	ブランド推進課	<p>【取組内容】 試験圃場での栽培の継続と生産者の所有地を活用した試験栽培に取り組み、面積の拡大を図ります。 また、製品の品質の研究や価格の検討を行いながら、販路の確立を図るとともに、薬膳の商品化に取り組みます。</p> <p>【上半期】 ・5月に薬草観察会、薬膳試食会を実施します。 ・県外の実需者へ商品の販促を行います。</p> <p>【下半期】 ・10月に2回目の観察会を実施します。 ・3月までに薬膳メニューの開発と提供先の協議を行います。</p>	計画どおり	<p>栽培品目の選定と試験栽培を継続し、収穫できた品目を市内の道の駅や県外の実需者に販売しました。 栽培面積は、品目数を減らしたことで減少しました。 また、5月と10月に開催した観察会と薬膳の試食では、合計で108人の参加がありました。 薬膳の開発においては、「道の駅とうごう」で、観察会でのレシピを参考にした料理を小鉢で提供しました。</p>	203
	3 産業振興	3-1 農業の振興	③経営安定 対策の推進	農業振興 事業	農業畜 産課	<p>【取組内容】 地域農業の振興と活力ある農村を維持していくため、農作業受託組織の機械導入助成や新規就農者のミニトマト生産施設の整備に対する支援を行います。</p> <p>【上半期】 ・関係機関と連携し、事業計画の検討等の支援を行い、交付申請等補助事業手続きを進めます。</p> <p>【下半期】 ・3月までに機械の導入、生産施設の整備を完了します。 ・関係機関と連携し、導入機械・施設の活用について支援を行います。</p>	完了	<p>農作業受託組織の機械導入助成や新規就農者のミニトマト生産施設の整備に対する支援を行いました。</p> <p>・3月：新規就農者3名のミニトマト生産施設(低コスト耐候性ハウス)の整備を完了しました。 ・3月：農作業受託組織1経営体の機械(コンバイン)導入を完了しました。</p>	169
				農地耕作 条件改善 事業	農業畜 産課	<p>【取組内容】 担い手への農地集約のため、富高豆田地区の基盤整備を行います。</p> <p>【上半期】 6月までに工事発注し、9月末までに基盤整備を完成します。</p>	完了	富高豆田地区の基盤整備を9月末までに完成し、土地所有者へ引渡しを行いました。	180

3-2 林業・木材 産業の振興	①生産基盤 の整備	林業成長 産業化地 域創出モ デル事業	林業水 産課	<p>[取組内容] 地域構想に基づき、①再生林の推進、②担い手の確保、③森林資源の利活用、④普及啓発の推進に係る各種事業に取り組みます。</p> <p>[上半期] ・合法伐採を推進するため、伐採パトロールや「伐採・搬出・再生林ガイドライン」を活用した研修会等を開催します。 ・都市部等における就労希望者の募集を7月から開始します。</p> <p>[下半期] ・森林組合等において、就労希望者への体験研修を実施します。 ・学校の出前授業を通じて、森林・林業担い手のリクルート事業を実施します。 ・鋸目立て職人養成に向け、検討会や勉強会を開催します。</p>	計画どおり	<p>「伐採・搬出・再生林ガイドライン」に基づいた一貫作業システムを普及させるために現地研修会を開催し、実践に向けた指導を行いました。</p> <p>担い手の確保については、林業に対する理解を得るために福岡市においてオフサイトミーティングを開催し、その後、日向市において実際に林業を体験してもらうことで、林業や日向市の魅力を実感してもらうことができました。また、体験学習会やワークショップ等の高校生向け教育プログラムを実施することで、意識の啓発を図り、職業としての林業への理解促進を図りました。</p> <p>鋸目立て職人養成については、先進地視察を行い、耳川流域での必要性と取り組む方向性について確認しました。</p>	184
	④森林資源 の保全と活 用	森林づく り推進事 業	林業水 産課	<p>[取組内容] 再生林に対する一般造林補助(100千円/ha以内)とスギコンテナ苗木普及補助(30円/本以内)を行います。</p> <p>[上半期] ・伐採届出書の受付や伐採パトロールを通じて再生林を推進します。</p> <p>[下半期] ・森林整備事業の完了後、森林組合からの申請を受け付けます。</p>	計画どおり	<p>国土保全造林事業(再生林に対する上乗せ補助)を実施。 補助上限を露地苗造林(100千円以内/ha)とスギコンテナ苗木造林(120千円以内/ha)に設定することにより、林業の低コスト化・省力化を図りました。</p> <p>パトロールによる適正な再生林の指導ができました。</p>	188
3-3 水産業の振 興	②漁業の経 営基盤強化	漁業振興 育成事業	林業水 産課	<p>[取組内容] 「細島いわがき」のブランド確立・生食出荷のための支援、漁船保険料の助成及び各種利子助成により、漁業経営の安定化及び水産業の振興を図ります。</p> <p>[上半期] ・岩ガキの成分検査の検証を行います。 ・年間を通して、生産体制の拡充や販路拡大に向けた取り組みを実施します。 ・岩ガキの生食用出荷に向けた支援を継続します。</p> <p>[下半期] ・漁船保険料等の助成及び各種利子助成を行います。</p>	計画どおり	<p>岩ガキの生食用出荷に向けての衛生検査の支援を行い、生食の販売を実施した結果、特に県外への認知が高まり、県外出荷量が昨年の3tから今年は7tに拡大しました。</p> <p>販路拡大についての取組では、生産者の参加するイベント等の支援を行いました。</p> <p>宮崎大学に委託した成分分析結果について、メディア等を通じて公表した後、取扱店等でPRを行いました。</p> <p>各種補助金・助成金について、適正に処理しました。</p>	199

## その他に取組む重点事業

( 農林水産部 )

基本目標	施策	具体的な施策	予算事業名	所管課	令和元年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
3 産業振興	3-1 農業の振興	③経営安定 対策の推進	農地中間 管理事業	農業畜 産課	<p>[取組内容] 重点実施地区に鶴毛・靱木地区を追加し、新たに本谷・西川内地区2.6ha、鶴毛・靱木地区9.1haの集積・集約を図ります。</p> <p>[上半期] 農地調査、出し手、受け手の掘り起しを行います。</p> <p>[下半期] 12月までに利用権設定を行います。</p>	計画どおり	<p>新たに本谷・西川内地区3.0ha、庄手・靱木地区1.6ha、鶴毛・靱木地区5.3haの集積・集約を行いました。</p> <p>重点実施地区に追加した鶴毛・靱木地区については、ほ場整備事業の工期延長に伴い、事業完了地区(楠群・日の平地区)のみの取組でありますが、概ね計画どおり進捗しています。</p>	380
		④畜産業の 振興	家畜防疫 推進事業	農業畜 産課	<p>[取組内容] 家畜疾病による経済的損失を防止するため、家畜伝染病等に対する畜舎等における衛生防疫対策を支援します。</p> <p>[上半期] ・牛異常産三種混合ワクチン予防接種事業を実施します。</p> <p>[下半期] ・牛異常産三種混合ワクチン予防接種事業を実施します。</p> <p>・消毒用消石灰を配布します(養鶏場、養豚場、養牛農場)。</p>	計画どおり	<p>経済的損失につながる牛異常産予防注射の実施と家畜伝染病対策として管内一斉消毒のため全畜種農場に消毒用石灰を配布しました。</p> <p>牛異常産三種混合ワクチン予防接種 H31 743頭 消毒用消石灰配布数量 H31 2,589袋</p>	177
			生産性向 上対策事 業	農業畜 産課	<p>[取組内容] 畜産農家の経営基盤強化を促進し、産地競争力・生産性の向上を図るため、優良家畜の導入に対する経費の一部を支援します。</p> <p>[上半期] ・支援頭数 優良雌牛50頭、優良母豚70頭</p> <p>[下半期] ・支援頭数 優良雌牛100頭、優良母豚70頭</p>	計画どおり	<p>優良家畜の導入経費に対して支援を行いました。</p> <p>H31 牛:134頭 豚:170頭</p>	176

		⑤農村環境の維持と生産基盤の整備	富島幹線用水路整備事業	農業畜産課	<p>[取組内容] 富島幹線用水路の機能保全計画に基づき、改修工事を行います。</p> <p>[上半期] ・宮崎県企業局と、工業用水からの給水に関する協議を行います。 ・改修工事の契約を締結します。</p> <p>[下半期] ・10月に工業用水からの給水を開始するとともに、3月末までに工事を完了します。</p>	計画どおり	<p>9月までに宮崎県企業局と工業用水給水に関する協議を行い、覚書を締結しました。 9月までに改修工事の契約を締結し、令和2年3月に工事を完成しました。</p>	183
	3-2 林業・木材産業の振興	①生産基盤の整備	横瀬・広瀬線林道改良事業	林業水産課	<p>[取組内容] 横瀬・広瀬線の開設を行います。(L=80m、W=4.0m)</p> <p>[上半期] 9月までに設計業務委託を完了し、令和元年度工事を発注します。</p> <p>[下半期] 3月までに令和元年度工事を完了します。</p>	計画どおり	横瀬・広瀬線の開設工事を2月に完了しました。(L=79.1m、W=4.0m)	191
3 産業振興	3-2 林業・木材産業の振興	①生産基盤の整備	林道施設長寿命化対策事業	林業水産課	<p>[取組内容] 林道橋定期点検10橋と林道橋25橋の林道橋長寿命化修繕計画を策定します。</p> <p>[上半期] 6月までに業務委託(定期点検・計画策定)を発注します。</p> <p>[下半期] 3月までに業務委託を完了します。</p>	計画どおり	林道橋定期点検11橋と林道橋26橋の林道橋梁長寿命化修繕計画の策定を3月に完了しました。	194

4 生活環境	3-3 水産業の振興	①水産資源を守り増やす取組の推進	魚貝類放流事業	林業水産課	<p>【取組内容】 ヒラメの稚魚放流事業に係る種苗費に対して支援を行います。</p> <p>【上半期】 ・5月に日向灘沖で放流を実施します。</p> <p>【下半期】 ・次年度以降の放流計画の協議を行います。</p>	計画どおり	5月に細島港沖と美々津港沖で、ヒラメの稚魚33,000尾放流しました。関係団体で協議を行い、宮崎県資源、管理指針を改定し、次年度の放流計画を策定しました。	197
	4-7 生活排水の適切な処理	②農業集落排水事業の推進	公営企業会計移行事業	農業畜産課	<p>【取組内容】 令和2年度から公営企業会計に移行するための作業及びシステム構築を行います。</p> <p>【上半期】 ・関係部局との調整及び企業会計に移行するために条例改正を行います。</p> <p>【下半期】 ・基礎データの移行作業及び最終確認を行います。 ・令和元年度打ち切り決算及び令和2年度予算の作成を行います。</p>	完了	公営企業会計移行に伴う条例改正やシステム構築作業・データ移行作業を行いました。令和元年度の打ち切り決算を行い令和2年4月1日から公営企業会計への移行手続きを完了しました。	463
6 地域経営	6-5 未来につなげる財政運営	②自主財源の確保	ふるさと日向市応援寄附金事業	ブランド推進課	<p>【取組内容】 ふるさと納税制度の趣旨を尊重しながら、返礼品等の充実・拡大に取り組むとともに、ポータルサイトにおける効果的な情報発信などを行い、寄附者の増加とリピーター確保を図ります。</p> <p>【上半期】 ・ポータルサイトにおけるPRの充実を図ります。 ・返礼品カタログの作成及び発送を行います。</p> <p>【下半期】 ・寄附金の使い道について報告します。 ・ダイレクトメールの作成及び発送を行います。 ・在京日向会や近畿日向会を活用した返礼品のPRを行います。</p>	計画どおり	ふるさと納税の返礼品に関する新着情報の掲載やカタログ作成等、ポータルサイトを活用した情報発信を行いました。また、リーフレット「寄附金の使い道のご報告」を約14,000人の寄附者に送付し、寄附金の充実実績の報告をしました。在京日向会や近畿日向会にふるさと納税返礼品を提供したほか、ふるさと納税イベントに参加し、地場産品や事業者、本市のふるさと納税をPRしました。	205



[様式1-4]

# 行財政改革大綱に基づく行動計画

( 農林水産部 )

大区分	中区分	小区分 (実施項目)	所管課	令和元年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果
3. 持続可能な財政基盤の強化	1. 経営視点に立った財政運営	28② 日向青果地方卸売市場(株)の経営健全化	農業畜産課	<p>【取組内容】 平成30年11月に解散した日向青果地方卸売市場(株)について清算手続きを進めます。</p> <p>【上半期】 ・5月までに土地・建物売却先選定のための公募を開始します。 ・7月までに売却し、清算を結了します。</p>	遅れ	日向青果地方卸売市場(株)所有の市場跡地(土地・建物)の条件付き一般競争入札を3回実施しましたが、応札がなく、清算結了に至りませんでした。 (参考) 第1回入札(7月) 第2回入札(10月) 第3回入札(2月)
	2. 自主財源等の歳入確保	33 ふるさと日向市応援寄附金事業の拡充	ブランド推進課	<p>【取組内容】 返礼品を扱う事業者の協力を得ながら、本市特産品を全国に発信し、寄附者の増加と寄附額の増大を図ります。</p> <p>【上半期】 ・事業者及び返礼品の拡大・充実を図ります。 ・ポータルサイトにおけるPRの充実を図ります。</p> <p>【下半期】 ・ふるさと日向市応援寄附金返礼品事業者連絡会を開催します。 ・ポータルサイトの感謝祭や在京日向会などを活用した返礼品のPRを行います。</p>	計画どおり	ふるさと日向市応援寄附金返礼品事業者連絡会を4回開催し、研修を通して返礼品の充実につなげました。 また、ふるさと納税イベントにおける返礼品のPRや、「ふるさとチョイスアワード」での本市のPRの結果、多くの寄附者の関心を得ることができました。 <令和元年度実績> 寄附件数 30,683件 事業者数 45業者 返礼品目 200品目